

平成24年5月31日（木）

国土交通省 関東地方整備局

国営昭和記念公園事務所

記者発表資料

国営昭和記念公園、国営東京臨海広域防災公園

平成24年度事業の概要について

平成24年度における国営昭和記念公園及び国営東京臨海広域防災公園の事業概要をお知らせいたします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ

神奈川建設記者会

都庁記者クラブ

立川市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所

【全体】

副所長 ひらつか ゆうじ  
平塚 勇司

電話：042-524-1516

【各公園の事業概要について】

＜国営昭和記念公園＞

調査・品質確保課長 さわだ だいすけ  
澤田 大介

電話：042-524-1089

＜国営東京臨海広域防災公園＞

防災対策推進官 いしだ たけし  
石田 武司

電話：03-3529-2171

国営昭和記念公園（東京都立川市・昭島市）

## 1. 公園概要

本公園は、昭和天皇御在位 50 年記念事業として設置された国営公園です。昭和 54 年から整備が進められ、昭和 58 年 10 月に開園しました。現在、計画面積 180ha のうち約 165ha が開園しており、平成 23 年度の年間入園者数は約 320 万人となっています。

## 2. 平成24年度実施計画

整備費：1,043百万円（平成23年度：1,581百万円）

維持管理費： 815百万円（平成23年度：1,007百万円）

## 事業概要

- ・平成 25 年春に公開予定の「こもれびの里」移築農家の整備を進めます。
- ・平成 26 年春に一部開園予定の「みどりの文化ゾーン」未開園区域の整備に着手します。
- ・安全・快適にご利用頂けるように、園地、トイレ、防災対策関連の整備及び老朽化施設の改修等を行います。

### 3. 今年度の主なイベント

| 名 称                       | 期 間                      |
|---------------------------|--------------------------|
| フラワーフェスティバル2012           | 平成24年3月24日(日)～5月20日(日)   |
| サマーフェスティバル                | 平成24年7月14日(土)～9月2日(日)    |
| 立川まつり国営昭和記念公園花火大会         | 平成24年7月28日(土)            |
| 第29回全国都市緑化フェア TOKYO       | 平成24年9月29日(土)～10月28日(日)  |
| 第89回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会      | 平成24年10月20日(土)           |
| 紅葉まつり                     | 平成24年11月10日(土)～11月25日(日) |
| Winter Vista Illumination | 平成24年12月8日(土)～12月25日(火)  |
| フラワーフェスティバル2013           | 平成25年3月下旬～5月下旬           |

- ・イベントは予定であり、内容・期間は変更する場合があります。
- ・詳しくは各イベント前にHP等でお知らせします。(http://www.showakinenpark.go.jp/)

#### 4. 今年度の無料開園日

| 無料開園日                 | 備 考                             |
|-----------------------|---------------------------------|
| 平成 24 年 4 月 15 日（日）   | 春の都市緑化推進運動（実施済）                 |
| 平成 24 年 4 月 29 日（日）   | 昭和の日（実施済）                       |
| 平成 24 年 5 月 5 日（土・祝）  | こどもの日※ <sup>1</sup> （実施済）       |
| 平成 24 年 7 月 28 日（土）   | 立川まつり国営昭和記念公園花火大会※ <sup>2</sup> |
| 平成 24 年 9 月 17 日（月・祝） | 敬老の日※ <sup>1</sup>              |
| 平成 24 年 10 月 14 日（日）  | 秋の都市緑化月間                        |
| 平成 24 年 10 月 28 日（日）  | 秋の都市緑化月間                        |

※1 5月5日（こどもの日）は小・中学生の方、9月19日（敬老の日）は65歳以上の方に限り入園無料になります。

※2 7月28日(花火大会)は18時以降の入園者に限り入園無料になります。

## 5. 平成24年度の主な事業箇所

### 防災活動拠点整備

立川市・昭島市の広域避難場所である当公園の防災活動拠点として整備を進めています。  
今年度は、屋外作業場、外構等の整備を行います。

### こもれびの里移築農家整備

こもれびの里は、昭和30年代の武蔵野の農村風景を再現するため、「昭和・武蔵野・農業」をテーマに、農業や年中行事など様々な体験を通じて、自然と暮らしの知恵を伝えていくエリアです。  
今年度は、平成25年春に公開予定の「こもれびの里」移築農家の外構、付属施設等の整備を行います。



こもれびの里 農家 完成イメージ

### 園地整備

今年3月に営業終了したパターゴルフ場跡地を芝生広場として再整備を行います。

### みどりの文化ゾーン未開園区域整備

みどりの文化ゾーンとその周辺市街地との回遊性を高めるため、みどりの文化ゾーン北側の未開園区域のうち「高松口ゲート(仮称)」(新設)周辺について、平成26年春の一部供用を目指し、整備に着手します。

### その他

災害時用電気設備の整備、混雑緩和のためのトイレ整備、老朽化した大型遊具、休憩施設等の改修等を行います。

### 立川口周辺改修整備

駐車場からゲートまでの園路のバリアフリー化等を行います。

### 建物防災改修

花みどり文化センター及び総合案内所の防災改修等を行います。



# 国営東京臨海広域防災公園（東京都江東区）

## 1. 公園概要

基幹的広域防災拠点有明の丘地区は、首都圏における大規模な地震災害等に際し、広域防災のヘッドクォーターとして機能する防災拠点です。事業化にあたり、わが国初の国営防災公園事業「国営東京臨海広域防災公園」として、都立公園と一体的に整備を行い、平成22年7月に開園しました。

平常時は、「防災体験学習施設 そなエリア東京」を中心に、防災に関する学習・訓練・情報発信などを行っております。

公園面積：6.7ha（都立公園部分とあわせて13.2ha）

主要施設：本部棟（「防災拠点施設（内閣府施設）」・「防災体験学習施設 そなエリア東京（公園施設）」）、ヘリポート、多目的広場等

## 2. 平成24年度実施計画

維持管理費：155百万円（平成23年度：155百万円）

### 事業概要

- ・ 防災に関する情報提供の拡充等を進めます。
- ・ 公園の運営状況等についてモニタリング調査を行い、今後の公園運営に反映させます。

## 3. 公園の利用状況（平成23年度）

- 「防災体験学習施設 そなエリア東京」の入館者数

190,675人（平成22年度 80,668人）

※家族連れその他、国、都、県、市役所等の行政機関、消防署・消防団・自主防災組織、学校関連の関係者から、民間企業、外国人（中国、韓国、オランダ、インドネシアなど）の方など多岐にわたっております。

- 関係機関による訓練、講習会の実施

【訓練】9月13日 深川消防署自衛消防技術審査会

自衛消防隊が事業所に設置してある消防用設備を活用し、119番通報、初期消火、避難誘導、傷病者の応急救護など一連の自衛消防活動について訓練成果を確認する審査会

など、訓練等に活用されました。

【講習会】年間を通して、災害・防災に係るボランティアによる講習会などに利用されました。

- イベントの会場利用

東京マラソンの関連イベント「東京大マラソン祭り」「東京マラソンファミリーラン」の会場として園地が利用されました。



# 東京臨海広域防災公園 概要

本公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生したときに公園全体が広域的な指令機能を受け持つヘッドクォーター等となり、平常時には防災に関する学習・訓練・情報発信などの拠点として機能する基幹的な広域防災拠点であるとともに、人々の魅力的な憩いの場となるよう、東京湾臨海部の緑の拠点として臨海副都心におけるにぎわいと交流の空間を提供します。

## ②ヘリポート

本部要員、救護や傷病者、緊急物資の空輸など大型ヘリコプターの利用も可能な場外離着陸場です。



発災時運用イメージ（平成21年8月自衛隊統合訓練）

## ③エントランス広場

発災時には災害時医療支援体制の支援機能を発揮するスペースです。



災害時医療支援運用イメージ

（平成20年9月東京都総合防災訓練、平成21年1月災害医療センター訓練）

## ④多目的広場・草地広場

発災時には、広域支援部隊・ボランティアなどが活動・統制所等として機能する場です。



広域支援部隊等展開イメージ

（平成22年11月緊急消防援助隊訓練）

## ①本部棟

災害発生時には国と九都県市※の合同現地対策本部が設置され、平常時には防災に関する学習・情報発信の拠点となる体験学習施設等となる本公園の中心施設で鉄筋コンクリート造2階建て延べ床面積約9,500㎡。屋上や壁面の一部は緑化しています。

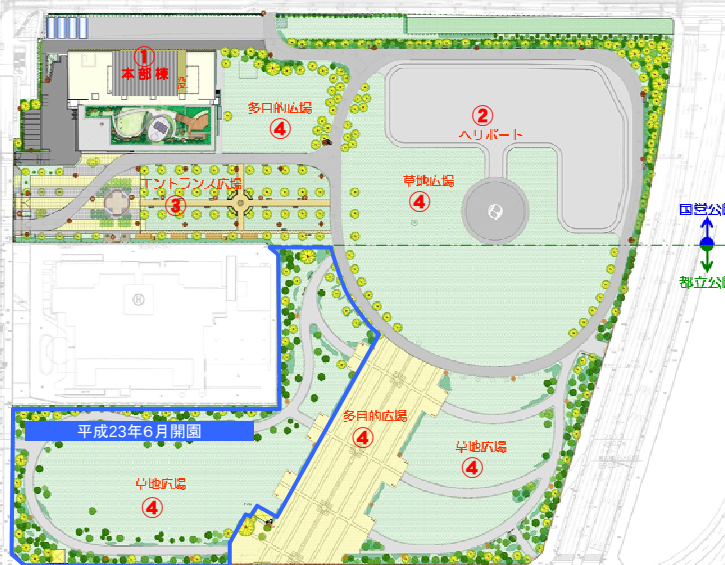
※：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市



現地対策本部運用イメージ  
（平成23年1月政府総合図上訓練）



体験学習施設（1階）



計画平面図

## ②ヘリポート

## ③エントランス広場

## ④多目的広場・草地広場

平常時は、各種防災訓練や学習、来園者の憩いの場として利用されています。



エントランス広場からヘリポート、草地広場を望む



東京都・文京区合同総合防災訓練（平成22年8月）



東京マラソンファミリーラン（平成24年2月）